

1 基本項目	事務事業名	森林病害虫等防除事業			担当部署	課名	農林水産課		
	予算事業名	森林病害虫等防除事業				係名	業務林政係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1036			
	事業期間	開始年度	平成9年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標 5 豊かな自然と共生したまち				算科目	款	農林水産業費
		政策名	12 自然環境の保全・継承					項	林業費
		施策名	35 水と緑の保全と活用					目	造林事業費
基本事業名		35-2 森林の整備・保全				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	県内唯一の「航行目標保安林」として指定され、魚津市の歴史的価値を有する天神山において、松林の保全活動を実施している。	
	対象	天神山の松林	
	手段 (活動指標)	松くい虫の防除(薬剤樹幹注入)	
	意図 (成果指標)	計画的に薬剤樹幹注入を行うことで、松林の保全を目的とする。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 処理本数(松)	本	30	21	15	18	120.0%	15
	②							
	③							
	① 被害本数(松)	本	0	0	0	0		0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円						
	②委託料	円	372,000	362,700	372,000	288,000	-20.6%	384,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計(A)	円	372,000	362,700	372,000	288,000	-20.6%	384,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	279,000	272,025	279,000	216,000	-20.6%	288,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	93,000	90,675	93,000	72,000	-20.6%	96,000
	収入合計	円	372,000	362,700	372,000	288,000	-20.6%	384,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	140	140	140	140	0.0%	140
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	588,000	588,000	588,000	588,000	0.0%	588,000
総費用(A+B)	円	960,000	950,700	960,000	876,000	-7.9%	972,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>施業は新川森林組合へ委託。                  薬剤注入本数 90本(注入対象木本数 18本)</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	県内唯一の「航行目標保安林」として指定されている魚津市天神山において、松林の保全活動を実施する事業であり、妥当である	
目的の妥当性					1 妥当である	県内唯一の「航行目標保安林」として指定されている魚津市天神山において、松林の保全活動を実施する事業であり、妥当である		
対象の妥当性					1 妥当である	県内唯一の「航行目標保安林」として指定されている魚津市天神山において、松林の保全活動を実施する事業であり、妥当である		
有効性	有効性	A	A	目標達成度	1 高い	計画的に薬剤樹幹注入を実施できている		
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない		
				上位施策への貢献度	1 高い	多面的機能を有する森林の保全に努めており、貢献度は高い		
効率性	効率性	B	A	コスト効率	1 高い	県単備を使用している		
				実施主体の適正化	1 適正である	魚津市の森林施業経験・実績が豊富な新川森林組合に委託しており適正である		
				負担割合の適正化	1 適正である	県、市にて負担しており適正である		
1次評価 (課長総括)		A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
後の方針 (評価結果及び今後)	一旦は終息に向かった松くい虫による被害が、平成24年度から県下の増加傾向にある。本市における防除対策は、航行目標保安林である天神山の松林に施すものであり計画的、継続的に実施していく必要がある。				評価結果			

1 基本項目	事務事業名	水と緑の森づくり事業		担当部署	課名	農林水産課			
	予算事業名	水と緑の森づくり事業			係名	業務林政係			
	事業区分	自治事務		電話番号	0765-23-1036				
	事業期間	開始年度	平成19年度	終了年度	平成28年度	予会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標5 豊かな自然と共生したまち				算科目目	款	農林水産業費
		政策名	12 自然環境の保全・継承					項	林業費
		施策名	35 水と緑の保全と活用					目	造林事業費
基本事業名		35-2 森林の整備・保全				アウトソーシング導入状況 導入予定なし			
根拠法令					総合計画等への記載		総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	人家、耕地周辺などの里山林（モウソウ竹林含む）、小規模な風雪被害林やカシノナガキクイムシの被害木の伐採跡地などで、整備及び管理又は利用について地域の合意形成が図られている森林を対象に、地域や生活に密着した里山の再生整備を行う。
	対象	市内民有林
	手段（活動指標）	事業実施地区の整備や管理・利用についての計画の策定や、そのために必要な森林調査や森林所有界の確認を行い、県・市・森林所有者の3者による協定の締結後、広葉樹や竹林などの伐採、玉切り、集積を行う。
意図（成果指標）	放棄され暗くなった里山林を地域の合意のもと策定された計画に基づいて伐採など整備を行い、明るい里山を再生する。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 里山整備箇所数（累計）	箇所	23	23	26	26	100.0%	31
	②							
	③							
成果指標	① 里山整備面積（累計）	ha	106.7	106.7	143.8	142.0	98.7%	174.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	99,000	99,000	291,000	291,000	193.9%	485,000
	② 委託料	円	23,179,000	16,559,970	28,714,000	21,041,300	27.1%	29,332,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	51,000	51,000	159,000	153,000	200.0%	265,000
	支出合計（A）	円	23,329,000	16,709,970	29,164,000	21,485,300	28.6%	30,082,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	23,329,000	16,709,970	29,164,000	21,485,300	28.6%	30,082,000
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円						
	収入合計	円	23,329,000	16,709,970	29,164,000	21,485,300	28.6%	30,082,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	② 年間所要時間	時間	500	600	600	500	-16.7%	600
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	2,100,000	2,520,000	2,520,000	2,100,000	-16.7%	2,520,000
総費用（A+B）	円	25,429,000	19,229,970	31,684,000	23,585,300	22.6%	32,602,000	

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○富山県、地権者、魚津市の3者において、里山再生整備事業の実施に関する協定書を、9～11月にかけて締結した。</p> <p>○協定を締結した森林について里山の再生整備を、9～3月にかけて行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	森林の整備・保全を行う事業であり、妥当である
対象の妥当性					1 妥当である	手入れ不足となっている森林を対象としており、妥当である
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	概ね計画どおりである
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はない
				上位施策への貢献度	1 高い	市全域において継続的に事業を行っており、貢献度は高い
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	県単価を使用している
				実施主体の適正化	1 適正である	森林整備の知識・技術を有している森林組合を実施主体としており、適正である
				負担割合の適正化	1 適正である	県税を活用し全県的に事業を行っており、適正である
1次評価（課長総括）	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
後の方針）	評価結果	平成19年から導入された県税「水と緑の森づくり税」による県の定額補助事業である。地域や生活に密着した里山の再生など森林の持つ多面的機能、公益的機能の保持や森林整備に欠かせない事業である。			評価結果	